

### ご挨拶 / GREETING

#### デルマトオーケストラとその合唱団、第九への道

デルマトオーケストラ代表  
**戸倉 新樹** Yoshiki Tokura  
中東総合医療センター、浜松医科大学名誉教授



2016年に第80回日本皮膚科学会(日皮会)東部支部学術大会を浜松で主催させて頂いたことが契機となって、「デルマトオーケストラ(Dermato-Orchestra)」の名称で皮膚科医によるオーケストラが発足しました。日本国内だけでなく海外にも通用し、英語で書かれても大丈夫なような名前を考えました。北海道から鹿児島まで全国の皮膚科医が集まり、全体練習の多くは東京で行われました。この時、シューベルトの交響曲第5番全楽章とモーツァルト交響曲第40番から二つの楽章を演奏しました。さらに機をきめて2018年に第34回日本皮膚病性腫瘍学会学術大会の折、第2回デルマトオーケストラ演奏会を浜松で行い、ブラームスの第2交響曲を奏しました。この2回の演奏会の実現によって、浜松医大の同級生で皮膚科医として活躍されている衛生学博士、吉田幸香、福永有希の各先生に幹事として大変ご尽力を頂きました。

この2回目の演奏会の後、3回目をどうするかという話が自然発生的に湧き上がりました。私が陣頭に思った曲は、ベートーヴェンの第九でした。しかし実際に行動に移すとすると、途方も無くハードルが高く、合唱団とソリストも組織しなければなりません。2年の間隔を堅持すると2020年が演奏会の日になります。第九ならターゲットとする学会は日皮会総会しかありません。そこで既に会頭に決まっていた天谷雅行理事長に打診し、すぐご快諾いただきました。合唱団については神奈川県皮膚科医会で合唱活動をされており河原山忠先生にまもり役をお願いしました。しかし2020年第九演奏会は、直前に新型コロナウイルスのパンデミックが起こり中止になりました。それから毎年、今年こそはという思いでしたが、実現は2024年になってしまいました。その間、妻と共々としてオケだけの演奏会を2回行いました。

この4年間のモチベーションと技術の維持は難しく、また学術大会との時間的折り合いもあって、今回、3楽章と4楽章のみの演奏となりました。指揮者として演奏をまとめて下さった岡輝明先生の献身的貢献に心より感謝します。ソリストをお招き受けいただきました。並河寿美、福原寿美枝、米澤傑、三原剛の各氏には特別な感謝の意を表します。河原山忠先生には合唱団のアレンジをいただきました。奥島忠生先生が強力にスチーマネージャーを兼任して実務を担って下さり、いくつかの合唱団の協力があって、開催の運びとなりました。福島管楽会のご理解とサポート無くしては実現できませんでした。ご参加の皆様には、4年越しに実現した第九演奏会を是非楽しんでいただければと思います。

### デルマトオーケストラ演奏記録 / HISTORY

- 第1回** 第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会 会期: 2016年10月29日 / 会場: アクトシティ浜松 大ホール  
モーツァルト 交響曲第40番 第1楽章 / シューベルト 交響曲第5番
- 第2回** 第34回日本皮膚病性腫瘍学会 会期: 2018年7月6日 / 会場: アクトシティ浜松 中ホール  
ブラームス 交響曲第2番
- 第3回** 第120回日本皮膚科学会総会 会期: 2021年6月11日 / 会場: パシフィコ横浜 会議センター  
シューベルト 交響曲第5番
- 第4回** 第121回日本皮膚科学会総会 会期: 2022年6月4日 / 会場: 国立京都国際会議場 大会議場  
ベートーヴェン 七重奏曲 第1楽章 / JS.バハ 管弦楽組曲第2番 Sarabande/Polemnia / パッヘルベル カノン シベリウス アンダンテ・アディオス / グリーグ ホルベルク組曲 (ホルベールの時代より)



### 指揮者の紹介 / CONDUCTOR, PROFILE



指揮者: **岡 輝明** Teruaki Oka 結核予防会横十字病院病理診断部長  
2024年、東京(女子医大)生まれ。1978年岩手医科大学医学部卒業。東京大学大学院医学系研究科人体病理学教室講師。公立学校共済組合関東中央病院病理検査部長を経て、現在公益財団法人結核予防会横十字病院病理診断部長。中央種痘審議会石綿肺病検査判定小委員会委員、中央肺結核研究會代表幹事、東京基礎病態学元会長、専門は病理学、形態学、皮膚高等学校フォーラムで最高評定者(ニコライ堂製薬製薬者)に指導を学ぶ。岩手医科大学中から岩手医科大学管弦楽団の指揮者を務め、2013年まで40年に亘って音楽監督、順天堂大学室内アンサンブル元指揮者、病理医オーケストラ(Japan Pathologist Philharmonic, JPP)、日本放射線学会オーケストラ(JRC festival orchestra)指揮者。

合唱指導: **奥村 伸樹** Nobuki Okumura

国立音楽大学卒。指揮者、オーケストラプロデューサー。これまで、オーケストラ、イタリアをはじめ、ヨーロッパ各地10か国以上にわたり様々なオーケストラや合唱団を指揮するほか、ファッションショーはじめ様々なイベント、ポップス、オペラ、ミュージカル、ダンスをはじめ幅広いジャンルのコンサート、イベント、レコーディング等で活動する。

伴奏ピアニスト: **早川 枝里子** Eriko Hayakawa **橋本 幸代** Sachiko Hashimoto

### ソリスト紹介 / SOLOIST, PROFILE



ソプラノ: **並河 寿美** Hisami Namikawa  
大阪音楽大学大学院オペラ研究科卒業。新国立劇場「おさへ心 中丸頼貞より」「蝶々夫人」、兵庫県立芸術文化センター「蝶々夫人」「トリス」「フィオロの結婚」「マリア・クリスタ」、ひまわりホール/神奈川市民ホール「トゥーランドット」「アイダ」「タンホイザー」、日本劇場「フィアリス」、東京二期会「イル・トロヴァトーレ」等多数に出演。その他ベートーヴェン第九をはじめ、数々のソリストを務める。兵庫県文化賞、神戸市文化奨励賞、神戸キリスト文化賞の他受賞。また、2008年川西みつなオペラ「トリス」の歌唱に際し、第7回文化庁芸術家奨励賞を受賞。大阪音楽大学特任准教授。東京二期会会員。昨年11月がローマ歌劇場日本公演「トリス」において、急遽代役として出演し、注目を集めた。



メゾソプラノ: **福原 寿美枝** Sumie Fukuhara  
京都府立芸術大学大学院修了。武蔵野女子大学音楽学部教授。東京文化会館50周年記念オペラ「結核」(吉事記)イザナミヤビセー「カルメン」歌唱役。ヴェルディ「アイダ」アムニスなど多くのオペラ作品の主要な役柄として出演。イタリア音楽劇場でのピナット、ファルネーニのオペラに出演。レパートリーは幅広く幅広いジャンルをカバー。マリアー、プロコフィエフなど幅広い分野に渡る。NHK交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団など多くのオーケストラとの共演多数。平成23年度神戸市文化奨励賞、2015年度音楽クラシッククラブ賞、第4回藤堂音楽賞受賞、関西二期会会員。



テノール: **米澤 傑** Suguru Yonezawa  
鹿児島大学医学部名誉教授。医療法人玉昌会 総合センター長。鹿児島市医師会病院病理学部長。日本病理学賞。鹿児島県芸術文化奨励賞。がんマーカー論文著者世界ランキング第8位(日本人第1位)、日本クラシック音楽コンクール声楽部門1位(全部門でダブル)、太陽コンソルト・コンサート・イデアアワード賞、「蝶々夫人」「カルメン」「トゥーランドット」の主演、ヘンデル「メサイア」、モーツァルトとヴェルディの「レタイスム」、ロッシニ「スタタ・マール」のソリスト、100以上の「第九」のソリスト、NHKの「第九をうたおう」、FM名曲リサイタル、芸術劇場、ラジオ関西、CQ「米澤 傑 テノール・オペラ777集」はヒットチャート度々第1位。



バリトン: **三原 剛** Tazuyoshi Mihara  
大阪音楽大学音楽学部演劇学科卒業。大阪音楽大学演劇学科教授。1981年日伊声楽コンクール金賞、92年日本音楽コンクール第1位、93年五島記念文化賞オペラ新人賞、五島記念文化財奨励学生としてケルンに留学。2008年、ザルツブルク音楽祭に招聘され、世界初演のベンツェ作曲のオペラに出演など国内外に活躍。リサイタル、オペラ、オーケストラとの共演にて活躍。パロッドの宗教音楽から現代作品まで幅広いレパートリーを有す。また、NHKの「名曲アルバム」「ニューイヤーパーフォーマンス」などラジオ、テレビに出演。第9回新演の会日本歌謡コンクール第1位、第7回クラシック音楽賞、大阪府舞台芸術奨励賞、平成17年度大阪文化賞を受賞。

ドライブをお試しください (料金不要)

Google ドライブは、あらゆるファイルを安全に保管しておけるサービスです。さっそくお試しください。